魔法少女まどか★マギカ
PUELLA MAGI
MADOKA MAGICA
3
魔獣編
漫画
ハノカゲ
原案
Magica Quartet
PUBLISHED BY HOUBUNSHA, MANGA TIME KR COMICS
©Magica Quartet / Aniplex・Madoka Movie Project Rebellion

1〜3巻まるまる自分自身の魔法に踊らされていただけだったなんて…!!
最悪だわ……
けっ……
…という事は あの「マドカ」は私の記憶情報から抜き出された
私の中の「鹿目まどか」像に他ならない…って事になるのだけれど……
その後。
あなたは本当のまどかだわ!!!
叛逆の物語に続く!!!
※ほぼほぼフィクションです。
MANGA TIME KR COMICS
魔法少女まどか☆マギカ
魔獣編
PUELLA MAGI MADOKA MAGICA
3
漫画 ハノカゲ
原作 Magica Quartet
芳文社
魔獣図鑑
設定:劇団イヌカレー
糸車の魔女
変異魔獣
（モデル・ホムラ）

3
魔法少女まどか☆マギカ[魔獣編]
PUBLISHED BY HOUBUNSHA, MANGA TIME KR COMICS
©Magica Quartet / Aniplex・Madoka Movie Project Rebellion
漫画 = ハノカゲ 原案 = Magica Quartet

*Presented by Hanokage*
*Based on story by Magica Quartet.*

*Don't forget. Always, somewhere, someone is fighting for you.*
*—As long as you remember her, you are not alone.*

# CONTENTS.

*Puella Magi Madoka Magica*

*Table of contents:*

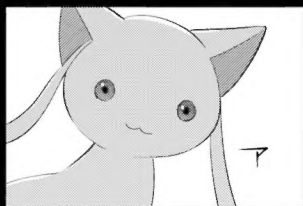
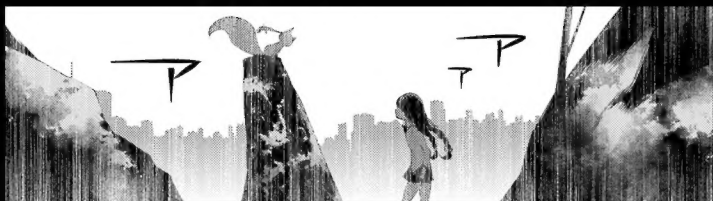
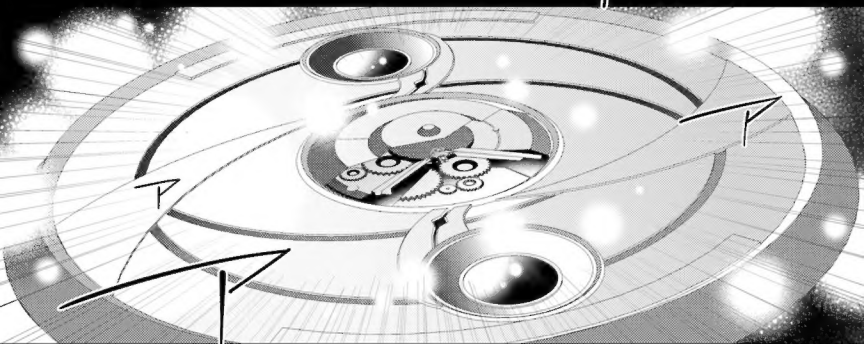
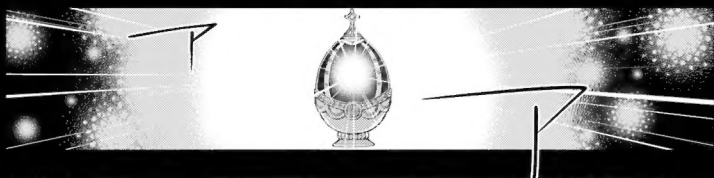
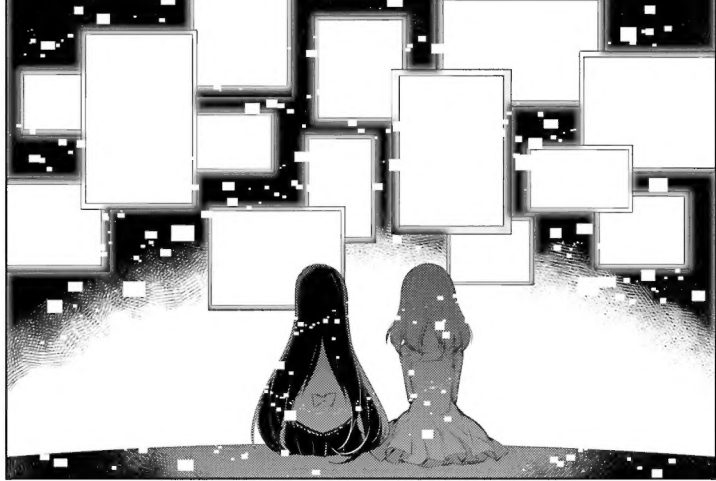

第7話 3
第8話 55
第9話 109

# 第7話

ア
アア
……私は
鹿目さんとの
出会いを
やり直したい
彼女に守られる
私じゃなくて
彼女を守る
私になりたい！

パ
ア
ア
ア
ア
ア
ア

…結局

トッ

全ては君の
夢物語だったで
決着がついた
わけだ

トッ

人は時に夢を懐き
それを叶えることの
積み重ねで今日までの
文明を築いてきた
そんな中で

最初からありもしない
希望にすがり
破滅していく人類も
目の当たりに
してきたけれど…

ト

ト

ねぇ

暁美
ほむら

これが君の
望んだ結末
だったのかい？

フ
ゥ
ゥ
ゥ
ゥ…

君の魔法少女たる
所以…自身の希望を
見失ってしまった
とはいえ

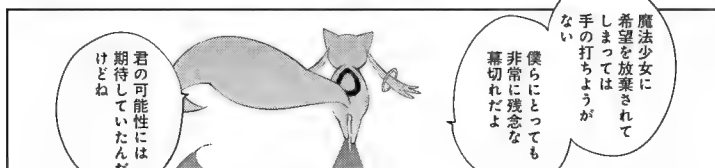
一匹の魔獣に
感情の全てを
捧げてしまう
なんて愚かだよ

ありったけの感情エネルギーを吸い尽くされた今ソウルジェムの輝きは喪われ

君の魂は希望にも絶望にも転じないただの石ころに成り果ててしまった

君がその魔獣に望んだ通り

円環の理は魂の停滞したソウルジェムを感知することなく

君をこの世に留め続けるだろう

魔法少女に希望を放棄されてしまっては手の打ちようがない

僕らにとっても非常に残念な幕切れだよ

君の可能性には期待していたんだけどね

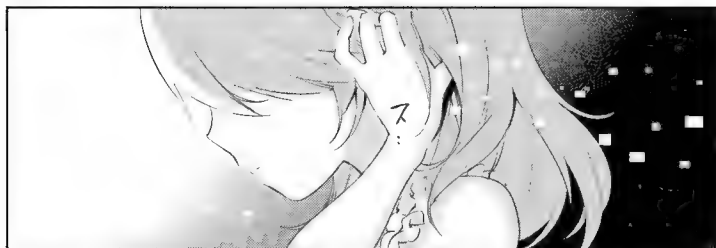
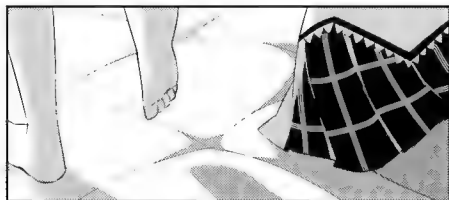
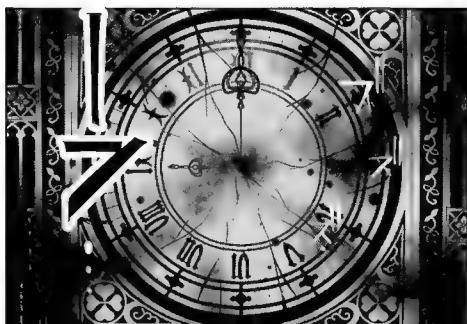
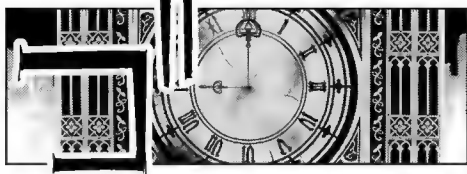
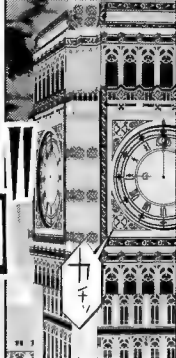
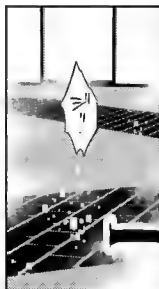
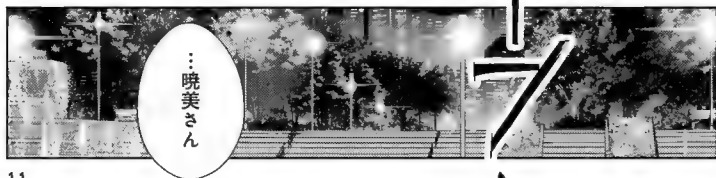
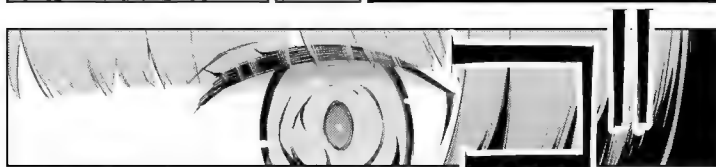
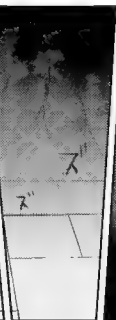
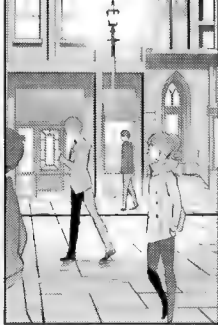
さよならだ暁美ほむら

…来る

あいつの…

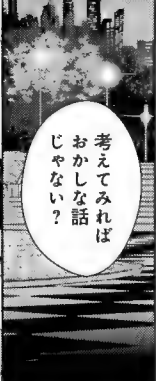
気配が近い…

カチッ
ゴーン…
ゴーン…
ジリ…
ゴーン…
ゴーン…
ゴーン…

ゴーン
ゴーン
ズズ
ズ
ズズ
ゴーン
…暁美さん
…

今日も学校には登校していなかったみたい
暁美さんの自宅も何度か訪ねてみたけど 全然反応がないの
せめて食事だけは取っているといいけど…
心食われて何食わぬ顔で学校通ってたら逆にすげーだろ…

あいつが魔獣を引き連れてたのにはびびったけどさ そもそも自業自得だろ
魔獣ったって命までは奪わないんだ 好きなだけ一緒に居させてやれば？

…そうね それも一つの選択肢なのかもしれない
…………
はぁ？

だって私たち 暁美さんの事 知ってるようで 何も知らないもの
これまでずっと 彼女の気持ちを察せず こちらの価値観を 一方的に押し付けて しまっていたのかも
…ううん
本当の事言う
あなたが見滝原に 来た時からずっと 気掛かりだったの
暁美さんの 敵味方問わず 誰も寄せ付けない 自己完結的な 戦い方
同じ 魔法少女にだって 様々な考え方が あるはずなのに…

考えてみれば
おかしな話
じゃない？

私たちって
死ぬために
戦ってるような
ものなのよ

奇跡の代償として
私たちはいずれ
円環の理(ことわり)に魂を
連れて行かれて
しまう

もちろん戦いの末
命を落とす結末は
覚悟の上で
契約を交わして
いるけれど……

少なくとも
あたしはどっちも
ごめんだね

魔獣に心を
殺されるのも
円環の理に
殺されるのもさ

………

…まてよ
なぁ　マミ

確か　ほむらは
自分の願いが
捏造の記憶だか
どうだかって
言ってなかった
か？

え？
…そうだった
かしら

だったらさ

本当の願いを
思い出せば
あいつも希望を
取り戻すんじゃ
ねーの？

本当の…？

って
どういう
こと？

いや…あいつが
魔法少女に
なるために
叶えた願いだよ

あいつはキュゥべえと
契約した覚えがないって
言ってやがったけど
現に魔法少女なんだから
必ず契約してるだろ？
記憶を弄る魔法で
本来の希望すら
書き換えられて
忘れちまってるなら
そいつをガツンと
思い出させてやれば
心を取り戻す
取っ掛かりが出来るん
じゃないか？

…それ
一体
どうやるの？
……
そこまで
考えて
ねえけど…
佐倉さんって…
丸くなった
わよね？
………
からかってん
の？

だって昔は
「他人の為に魔法は
使わない」って
スタンス貫いてた
じゃない
見滝原に戻って
美樹さんに一度
お灸を据えられた
お陰かしら？
だ…誰がいつ誰に
お灸を据えられた
って…!?
ふふ
冗談よ
佐倉さんが
この街に留まって
くれた事
これでも感謝
してるんだから

別にあたしは大物魔獣をぶっ飛ばしたいだけだっつーの

このまま手土産もなしに風見野に帰ったんじゃカッコつかねーし

…まぁ さやかを永久欠番にさせちまった責任もあるしな

一応 義理は通さないとアイツにも面目が…

ってなんでわざわざあんたにこんな事

やはり…魔獣！

って…湧き過ぎだろこの数!?

一体今の今までドコに隠れ潜んでやがった!?

……？

ち、丁度いいさ腹ごなしに…
佐倉さんちょっと待って

あ？どうした
よく見て

様子が普段と違わない？…構えてこない
この至近距離で私達の存在に気づかないものかしら…？

こちらの魔力に限りがある以上全て捌ききるのは得策じゃない
襲ってこないなら無理に刺激せず様子を見たほうが…
なぁこいつら

どこに向かってるんだ？

追ってみましょう
大物魔獣への
糸口が掴めるかも
藪蛇かも
しれないぜ？

これが何かの
罠だとしても
他に手がかりが
無い以上
行動あるのみよ

むしろ
好都合だわ

人がこんなに…!?

大丈…

ここら一帯全員やられたのか
まさか魔獣共
街中の人間を…

…いいえ
おかしいわ
佐倉さん

やったのは
魔獣じゃないかも
しれない

…事切れている

冷たくなってる
…氷みたいに

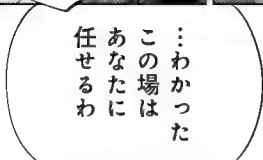
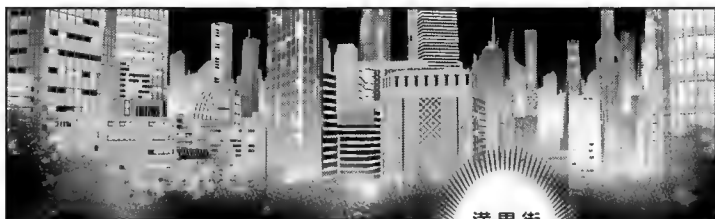
…………

……おい
どうなってんだよ…
魔獣は人間を廃人にするだけで殺さねえんじゃなかったのか!?
………
私達が知ってる魔獣は……そう感情を奪い尽くすだけだった
でも大物魔獣が現れてからはそうじゃない
変異魔獣のように今までの常識が通用しない敵が現れたって不思議じゃないのかも
常識が通用しない…
マミ!伏せろ!
え……

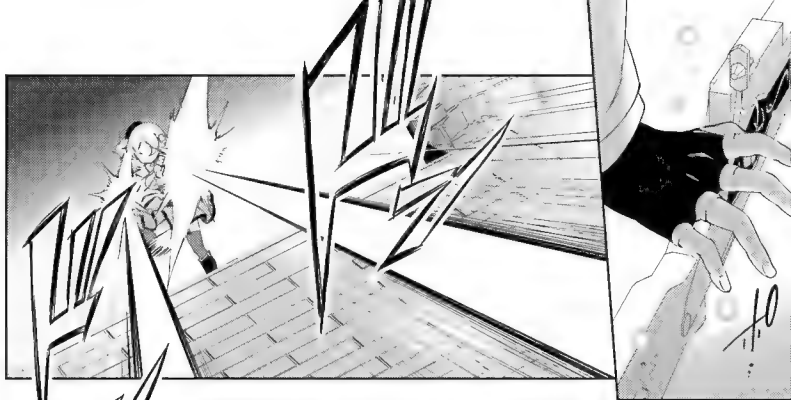
噂をすれば…
そら
影ってやつだ
久しぶり
じゃねーか
てめえから
出向いてくれて
こっちの
探す手間が
省けたぜ

なあ
ニセモノの…
さやか！
………
！
これが
美樹さんの…
おい ニセさやか
この人間達は
どうしたんだ？
てめえが全員
殺しちまった
のかよ？
ふん
この前はえらく
饒舌だったくせに
今度はだんまりか
……ま
てめえが出て
きたって時点で
大方予想はつく
けどさ

マミ！あんたはザコ魔獣を追いかけろ
こいつはあたしが片付ける！
！
待って！時間操作を使われたら厄介よ ここは二対一で…
魔獣の手の内はわかってんだ あんたは先を急げ
これ以上無駄に死人を増やすのも後味悪いしな
それより大物魔獣の手掛かりを失う方がまずいだろ
………
…わかった この場はあなたに任せるわ
！
健闘を祈ってる！

そう焦んなって
今度は逃げずに相手になってくれるよな？
てめーらの目的なんか知らねえし正直どうだっていいけどさ
根も葉もないデタラメ並べてあいつの親友を傷つけたのはいただけねえ
じゃあどうすんの？
……!?
さやかを騙ってあいつの遺志を弄びやがった罪…

その身で贖（あがな）ってもらうぜ

街中が黒い瘴気に満ちている

根源はどこ？早く突き止めないと…

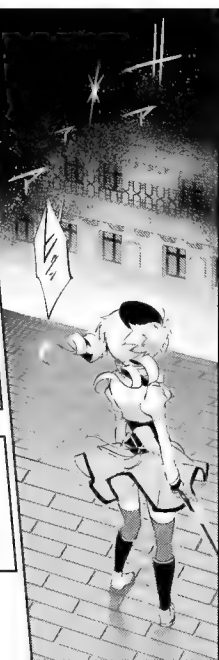
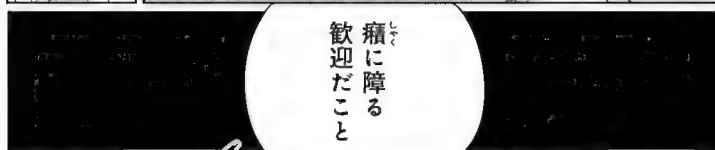
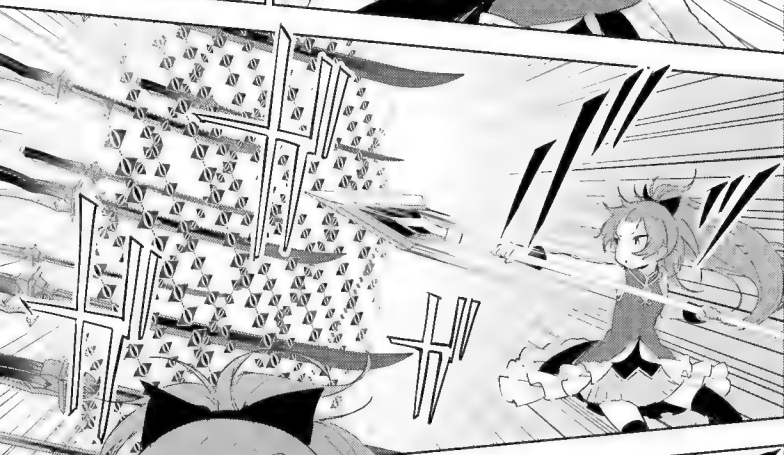
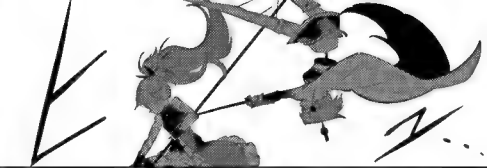
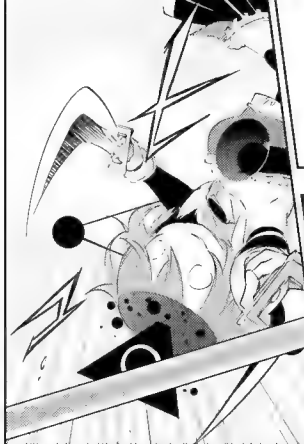
魔獣たちが
集結しているのは
この一帯か…
大物魔獣の
姿は見えないけど
ここに何が…?
ゾ
ゾ
…
…

…ごきげんよう
また会ったわね
この前の一撃では
やはり仕留め損ねて
しまったみたい…
!

あら？
もう一人は新しいお友達？
……本当
癪に障る歓迎だこと
ドドン
ドドン
ドドッ
ドドド
ドドド

ドド
ドド
ド
ヒュ…
ザ

パッ
はっ
っ!?

ギンッ
ザッ…

グッ
キィィィ
ザザザ

……
ギッ
ギ
うあッ
……ッ
こいつがマミ達の言ってた時間操作か
魔獣のくせに妙な魔法を覚えやがって…
ちっ

ちょこまかと
うぜえ小細工
抜きにして
さやからしく
正々堂々
勝負しやがれ!

ぜッ…
…取った！

こうすりゃ…
逃げられねえん
だってね
覚悟しな！
…っ!?
なん……

ヒ
ハ
ハ
ハ
ヒ
ハ
なっ……!?
ズズ
ズズ
ズズ

…まさか
魔獣(サヤカ)ごと——!?

ヒュンッ
ス…

ス…
アア
ジジ
アア
パキッ
アア
ジ…

…今度こそ

逃さねえからな…！

オ
オ
オ
オ
テメェら
全員まとめて
裁きを受けな！

…これで！
フィナーレだ‼

パキ…
パキ…
パキ…

ザザ
ゴオオオ
ずず…
…ぶはっ
カン
…ちっ

やっぱ
マミの手数には
及ばねーか…
情けね………

ジワ…
オオオ…
はぁ…
はぁっ
はぁ
二対一…
できれば魔力の
無駄撃ちはしたく
なかったけど
そうも言って
いられない
わね…
…せめて
あと一手…！
…………

……わたし
行かなくちゃ

キュ…

ドドドドドドド
ドッ
キュイイ
…しまった
キキュ
ス…
間に合わな…

あなたは・・・

……………
ザァ
ア
ア
ア
…あなたは
第8話

暁美さんの…
ピ
ピ
ピ
ピ
ピ
ピ
ピ
ド
ポゥ…

キュ…
ヒュン

ゼ
ゼロ
ゼロ
ゼロ
ゼロ
ゼロ
ゴオオオオオ
……
ポ…
…えっ？
私を…
守った？
!!

チラ…
……っ!
…………

ス…
?

…手?
何なの?…手を出せって事?
何かの罠…?
それとも…?

チャキ
！

これは……
………
時間を止めたのはあなた？
…さっきの戦いぶりを見る限り
あの魔獣たちの仲間ってわけじゃなさそうだけど…
パチ
パチ
パチ
………
まさか
魔獣のあなたと魔法少女の私とで
手を結ぼうって…そういうこと？

ヒュ
ドォ
ッ
……
!?
オ
オ
オ

ヒュ
オオオ
キョロ
キョ
オオ
ピィッ
ニコ…

!
あら
ギュ
何か
お探しもの？
手間取っている
みたいだから
先に見つけておいて
あげたわよ
でも
あなた達だって
ズルしてたん
だから
ド
サッ
ギ
ギ
…ごめんなさいね
ちょっぴり
ズルしちゃった
ギ
ギ……
これで
おあいこよね？

今度こそ
決めてあげる！
パチッ☆

ティロ・フィナーレ!!
ヒュン
パキ
パキ…

キン
カタカタ
ふぅ…
コッ
コッ
ヒュ
ウ
ウ
…
コ…
魔獣の手を借りるなんて…ちょっと不本意だったけど
お陰で命拾いさせて貰ったわ
でも魔獣のあなたが一体なぜ？
あなたはさっきの変異魔獣とは違うものなの…？
ゴーン…

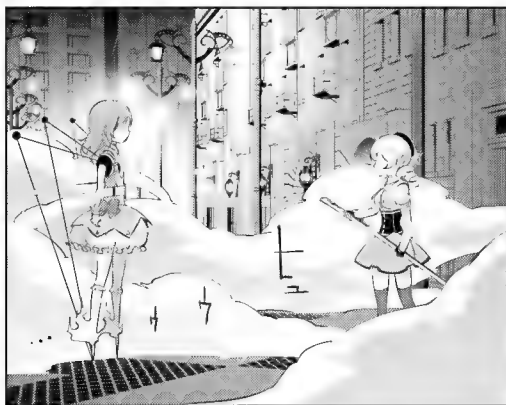
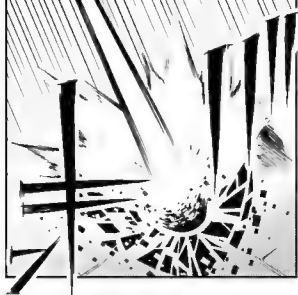
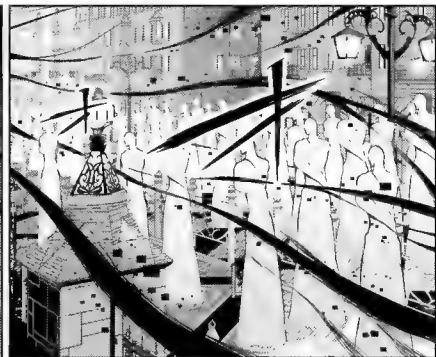
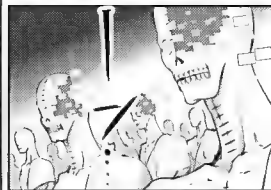
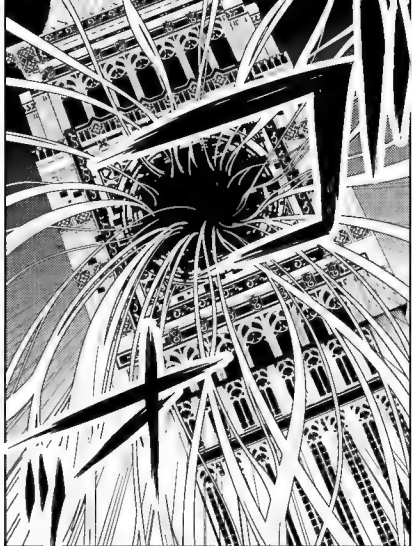
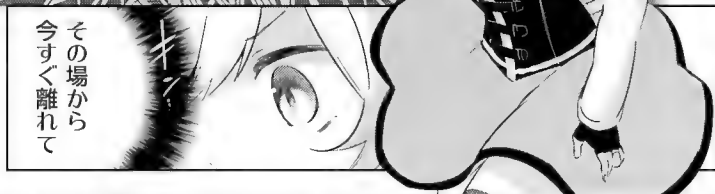
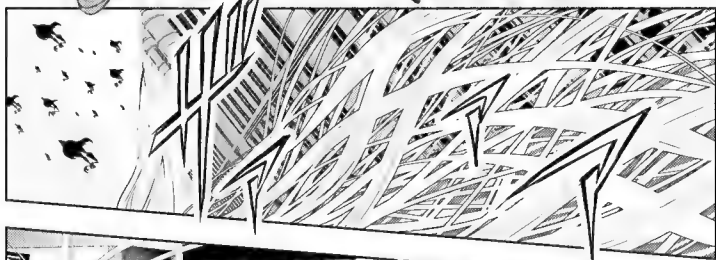
ゴーン…
ゴーン

スタッ
ズオオ
これは…一体…!?
キン
その場から今すぐ離れて
えっ…?
!!
ドゴオオ

ド
ド
ズ
ズ
ズ
ズ
……な……
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
……
何……これ……

これが…
魔獣なの…!?

ギョロッ

瘴気とは違う
おぞましい力…
これまでの
変異魔獣とは
何かが……
……？
あッ

オォ
ザッ
おい
大丈夫か？
タッ
佐倉さん！
話し合いは後だ
一旦ここから
離れるぞ！
え…ええ！
ズ
ズ
よかった
そっちは
無事だった
みたいね
ああ
まあな
…と言いたい
とこだけど
あたしはここらで
降りさせて
もらうわ
えっ？
急に
どうして…

!
魔獣ごときに
手間取っちまってさ
この通り
スッカラカンさ
…ま
命があった
だけでも
儲けものかも
しれないけどね
……そう…
…しっかし
なんだあの
ばかでかい
バケモンは？
あたし達が
捜し回ってた
大物魔獣
ってのは…
あんなだったか？
ええ
その通りよ
あれの正体は
大物魔獣で
間違いは
ないけれど
私達…
魔獣たちの
仲間という
わけでもないわ
なっ…！

おい…こいつ！ほむらと一緒にいた…！

さっきこの魔獣に助けてもらったの…危害は加えないと思う

は!?

大丈夫この場は私にまかせて

ねえ

あなたはあの魔獣について何か知っているのね

あの魔獣と街の異変は関係があるの？私たちは少しでも情報が欲しいの

あなたに敵対の意思がないのならお互いに協力しあいましょう…？

災厄の権化
あれは顕現して間もない不完全な姿だけれど既に負の力は蔓延の兆しを見せている
キュル
キュル
キュル…
あなたたちが見てきたとおり地上の人々の命を奪い始めたのがその証拠
この星のありとあらゆる生命は終焉を迎えることになる
このまま奴を見過ごせばやがて完全なる覚醒を遂げ…そして
ピシ
パキッ
パキ
……!

魔獣達にとって生命の死滅は本来の意思とは異なるもの
魔獣の役目は負の力を処理し均衡を取り戻すこと
下部に連なる魔獣たちは変異魔獣の暴走を食い止める役目を担っている
ここから先は私に任せてあなた達は避難して
奴が顕現した今あなたたちに出来ることはなにもないから
……
…つまり今の話を整理すると
人々の命を脅かしているのは「変異魔獣」の方で正気を保つ「魔獣」は世界の味方って事？
…なんだか突拍子も無さ過ぎてにわかには信じがたい話ね
仮にあなたの話が本当だとして…明らかな脅威を目の前にして
魔獣だけを残して私達に逃げろと…そう言いたいのね
コク
残念だけどあなたの言い分は飲めないわ
私は魔法少女ですもの

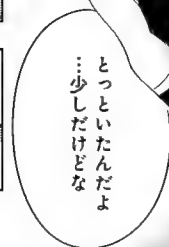
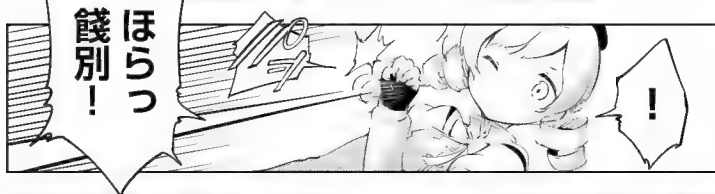
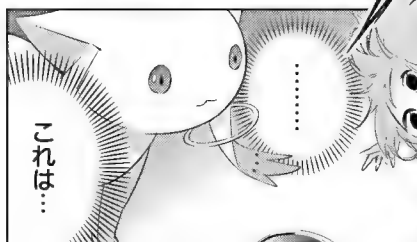
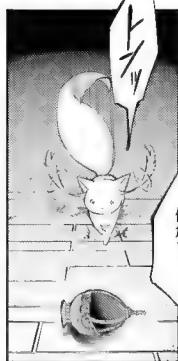
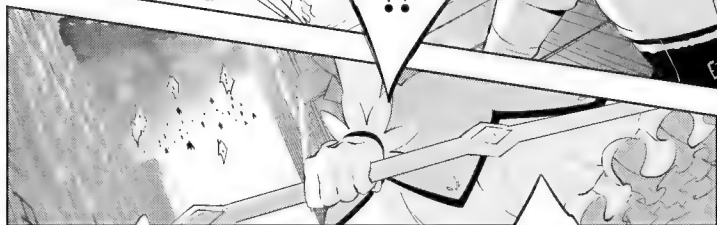
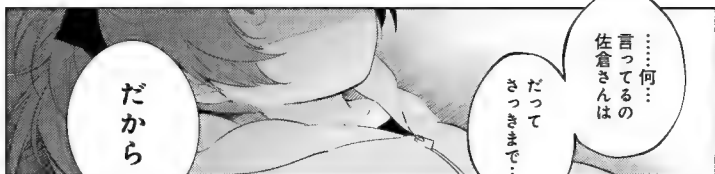
ここは
私達 魔法少女が
守るべき街
何が正しくて
何が否なのか
それは私自身の目で
判断することよ
だから私は
あなたと一緒に
ここに残るわ
それに
こう見えて
借りは返す
主義なの
おいおい…
魔獣の言うことだぞ
嵌められたら
どうすんだよ？
その時は
考えるわよ
でもね
なんだか…
この魔獣と
接していると
ずっと一緒に
戦ってきた
仲間のような…
そんな気持ちに
させられるの
…佐倉さんは
この場から離れて
街の安全を確保して
!
この子の話が
本当なら
この先 被害は
街中に拡大するはず
出来る限りで
構わないから
被害を最小限に
抑えられるよう
努めて欲しいの

大丈夫
前線は私達に任せて
……ッ
あー もうっ くそっ
ほらっ
餞別！
！
仕方ねえから
もう少しだけ
付き合ってやるよ
今が
「使いどき」って
ヤツなのかも
しれないしな…
……
これって…
とっといたんだよ
…少しだけどな
ふ〜ん？
…ッ

……べ 別に！
あたしの目的は
さやかの敵討ちだって
だけの話だかんな！
…要らない
なら返せ！
あら 嫌よ
助かったわ
ありがとう
ふん…
柄にもなく
素直じゃんか
ジジジ
ジ…
ド
ッ

……え…っ？

……ッ!?
……れ…

佐倉さん!?
ちょっとどうしたの…
ねえしっかり！
ドンッ
そんな佐倉さ…！
……
これは…

諦めよう マミ
キュゥべえ…
杏子は さっきの触手に 触れられて しまったんだ
魂が完全に 抜け落ちている 残念だけど 助かる見込みは ないと思うよ
……何… 言ってるの 佐倉さんは だって さっきまで…
だから
杏子は既に 死亡して いるんだよ

……街中の惨状を見て回っていたんだ
みな あの触手に触れられただけで生命維持機能まで瞬時に喪われてしまうようだった
マミ…杏子が触手に狙われたということは既にこちらの居所は割れてしまっている
君だけでも今すぐここから逃げるんだ！

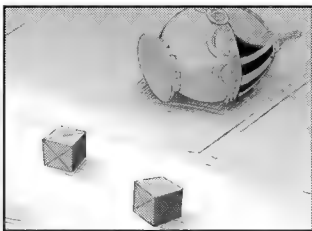
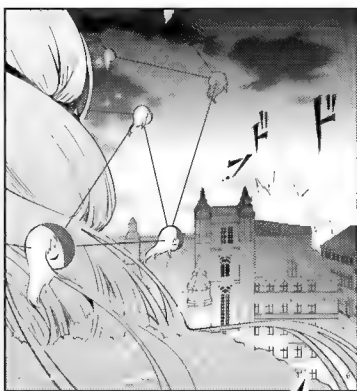
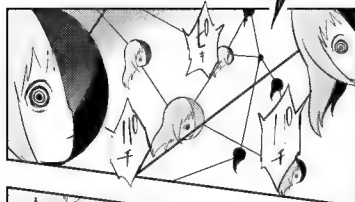
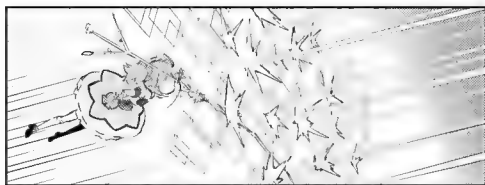
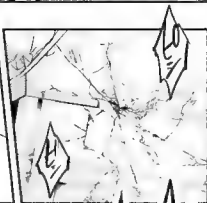
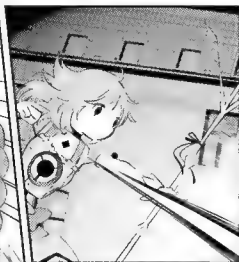
ドドドドド
キュ
ィ
ドドドド

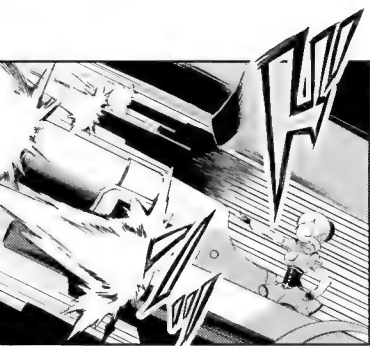
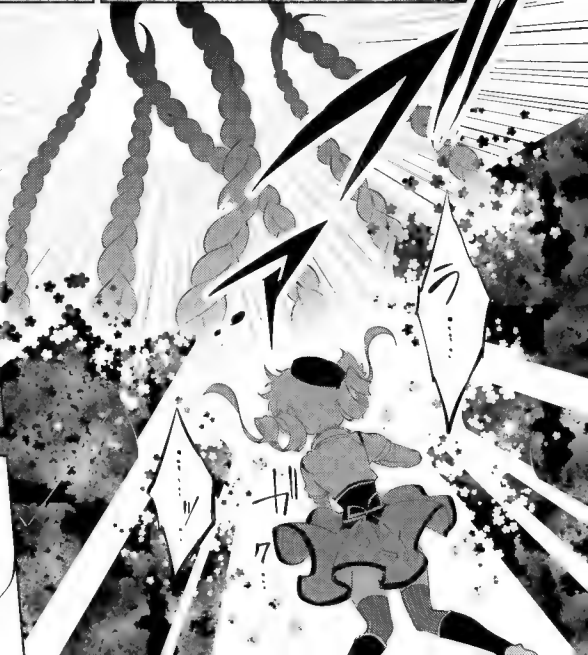
ヒュ
ドドン
ヒュ
オオオオ

ドド
ドォン…
ドド…

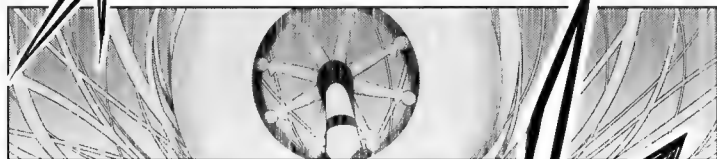
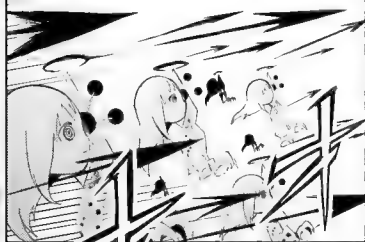
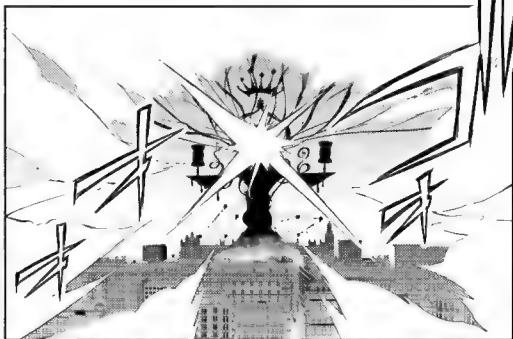
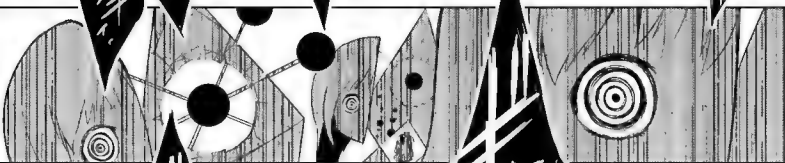
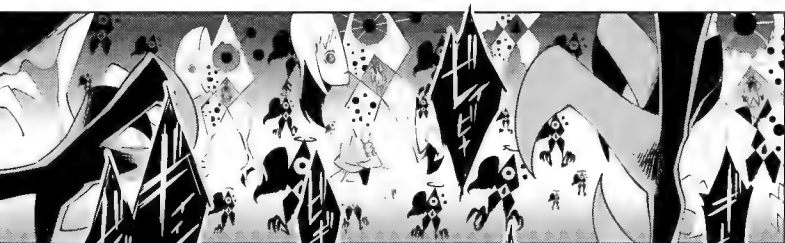
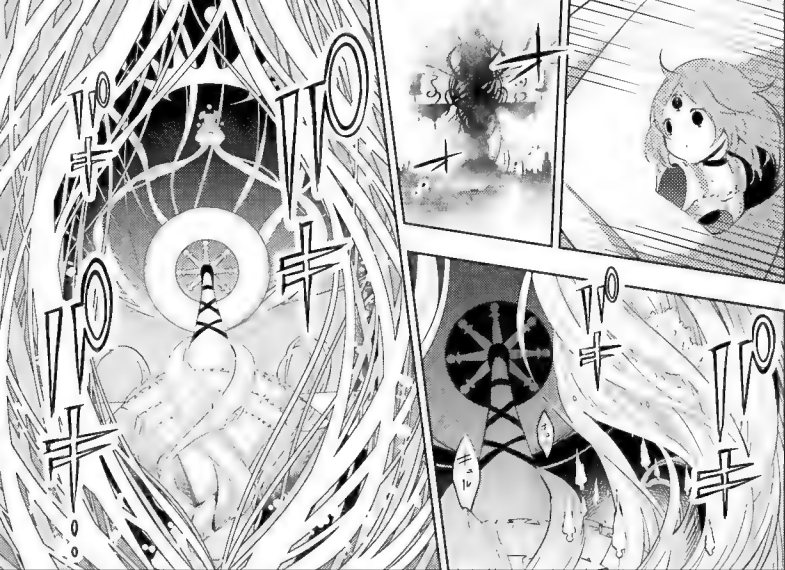
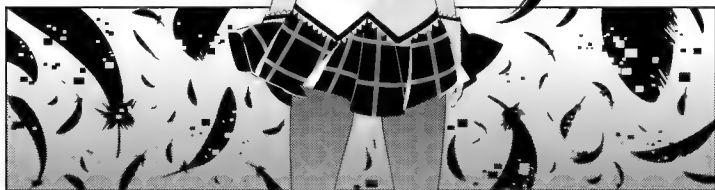
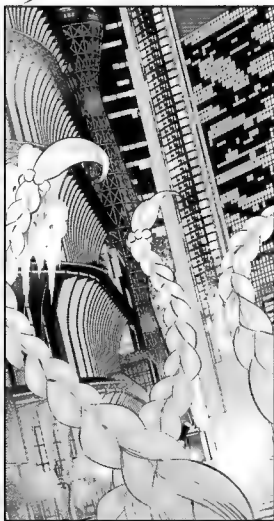
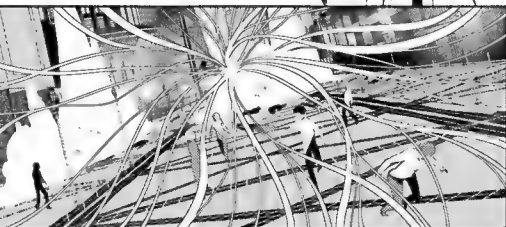
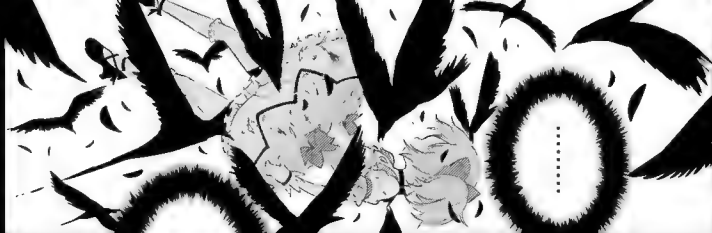
ザクッ

ザザ
ザ
ギッ
ギィ

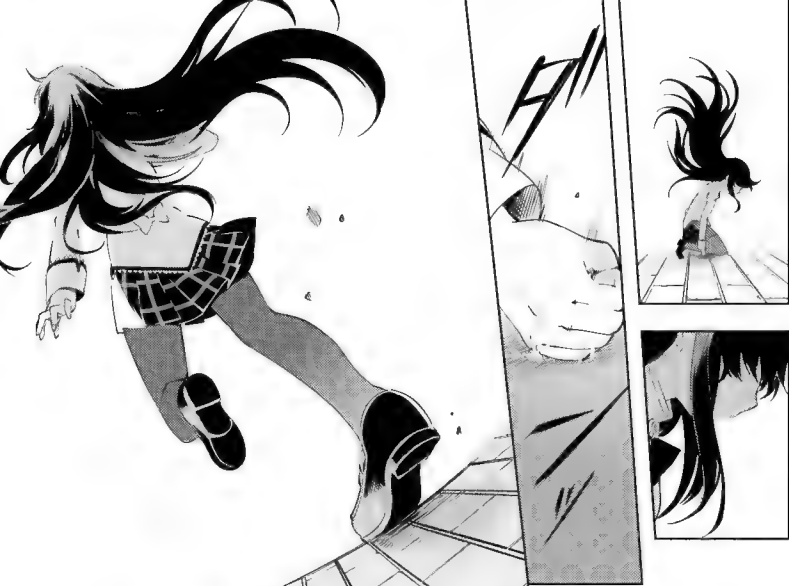
ザァァァ
ァア!…
ヒュゥ
ウウウウウ

少しだけ…私が時間を稼いであげるわ
……行って！

!
…ここまでか

案外…
あっけないものね
魔法少女の…最期なんて

ゴォォ
!!

パキ
パキ
パキ
パキ
キュ
キュル

…まどか？

………
これは…なに？
…どうしてこんなことに……？
夢…？違う……
私…はまた……
う……
……ッ

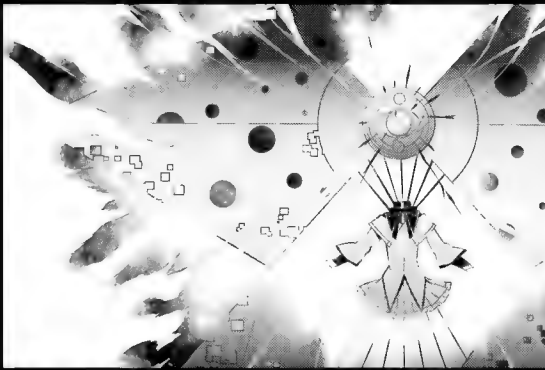
ま……ッ…

まどか…ッ!!

…そうだった

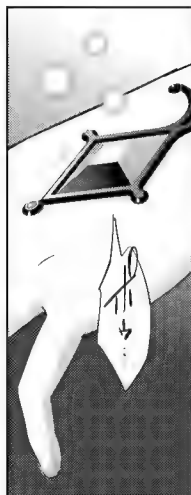
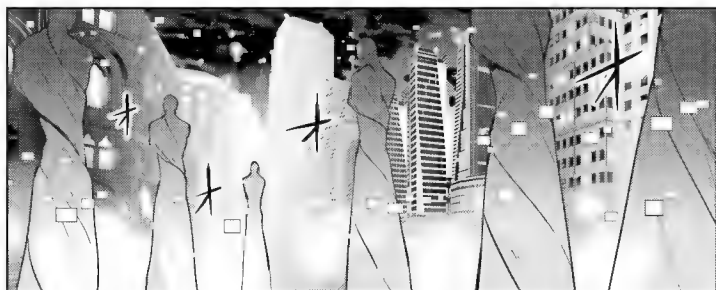
まどかは
私の空想の産物
なんかじゃない

だって私は
知っている…
迷う事なんて
なにもない

やっと…
思い出した

あの魔獣
…いえ

――事の起こりは
まどかによって
世界が改変されて
間もない頃にまで遡る――
全ての始まりは
ひとつの始まりの魔法…
役目を終え
失ったはずの
過去の力…
ひとつの
「盾」の存在から
始まった

第9話

ポゥ…

ガチ
ガチッ
……
ポゥ…
やはり
起動しない
壊れている
みたいね
時間を巻き戻す
必要がなくなったの
だから当然といえば
そうだけど
なら この盾だけが
手元に残って
しまったのは
何故…？
「時間操作魔法」
それはかつての
魔女が蔓延る
絶望の世界に
おいて
私がまどかを
救うために
幾度となく用いた
魔法だ

魔法の盾に備わった
時間遡行の力で
何度も同じ時を
繰り返し

己の身と心を
擦り減らしながら
私はたった一人で
戦い続けてきた

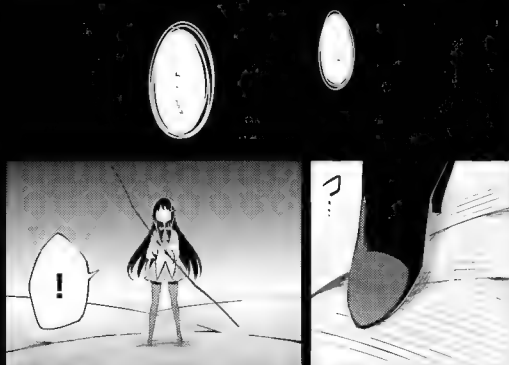
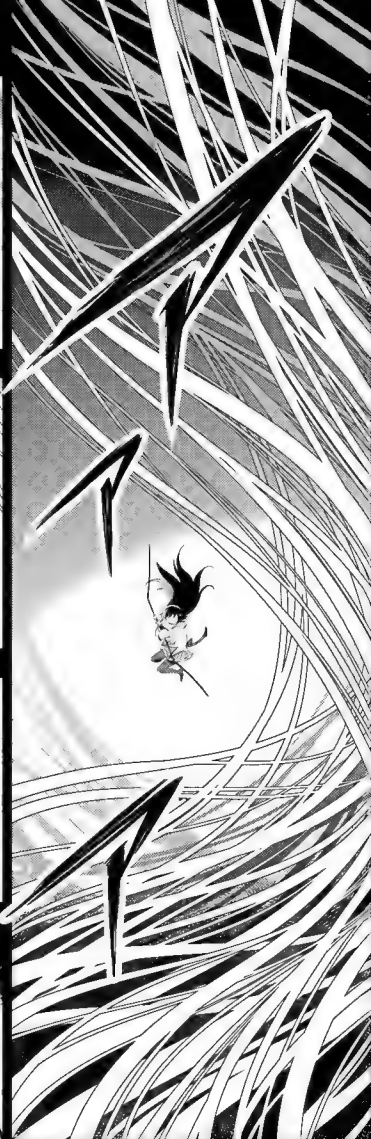
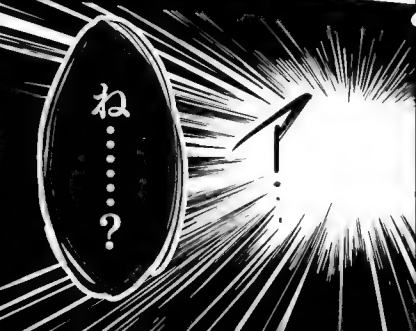
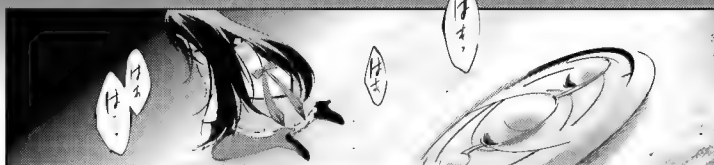
…その
「時を操る力」も

魔女の呪縛から
解き放たれた
今の世界にとっては
既に過去のもの

……名残惜しく
取っておいても
仕方のないもの
だわ

ス…

まどかが
呪いの因果を
断ち切って
くれたんだもの

時間を巻き戻す
力なんて
もう必要ない…

ヒュゥ

…いっそ
捨てて
しまおうか

カッ
…え？
っ！

……これ…は…？
ゴゴゴゴ

コッ…
コッ…
…………
あの盾の中に
こんな空間が
あったなんて
どこかで
見覚えが
あるような…
迂闊に
立ち入るべきじゃ
なかったかしら
コ…
!

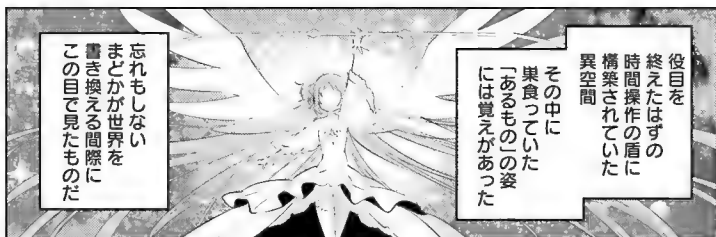
声…？
誰？
誰かいるの？
…ほむ…らちゃ…
…いえ今確かに……
気のせい？
…ねえ
誰かいるなら返事をして！

ほむらちゃん
!!
まどかなの…!?
確かに聞こえる…でも
こっちだよ
ねえ
そんなはずは…!?
……っ!

!
…また
あえ
た
ね……？

ほむら…ちゃん…？

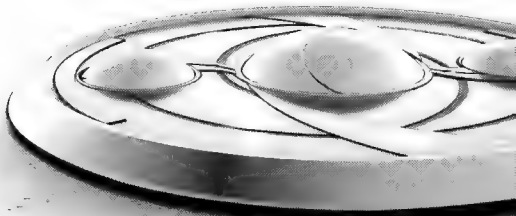
「あいつ」は

紛れもなく「あの」時の……

あの子が願いと引き換えに背負ったすべての宇宙のおぞましい呪い…

有り得ない

…そもそもこの世界に魔女が存在するはずがない

あの子が永久に魔女と戦い続ける事でこの世界は救われたんじゃ……

もしも
もしも本当に
今見たものが
魔女だったのなら…！
……っ…
……
この中にいたものが
本当に魔女だとするならば
…そう
永久に魔女と戦う
願いを叶えた
まどかも…また…

……いいえ
忘れてしまった方がいい
…そして後に私は自分自身の記憶を魔法で書き換えた
魔獣の世界に引き継がれた時間遡行の盾と盾の中で見たもの
それら全てを「なかったもの」として
どうして時間操作の代わりの魔法が記憶操作なの…？
記憶操作の魔術を使い盾の存在を記憶ごと自身に封じ込めた
「あれ」をまどかの守った世界と接触させては絶対にならない
私にはこの世界を守らなければならない義務がある
世界が変わろうと私の魔法が変わろうと
私の願いは「まどかを守る」こと

私はまどかを守る
盾なんだ

…………

記憶の改竄が
裏目に出る
なんて…

早くあいつを
止めないと

…ッ

ボタ

ボタ

ゲホ
ゴホッ

ケホッ

!?

まずい…
魔力がまだ
戻らない
早く止血を…

ピ…
まどか……
…最低だわ…私
記憶の改竄程度であなたの存在まで疑ってしまった
あなたの世界を守ると決めたのにこんな無様な結果を招いてしまうなんて
ごめんなさい…まどか
もう二度とあなたを疑ったりしないから
だからお願いまどか
私に力を……

大丈夫だよ
ほむらちゃん
もう大丈夫

わたし
言ったでしょ？
「ほむらちゃんには」
「わたしがいるもの」
…って
…マド…
だから
ほむらちゃんは
！
待って！
きっと大丈夫
まど…
っ！

……随分と待たせてしまったわね
助けに来たわ

ここは…
これは…一体
驚いたかしら
ここはあなたのソウルジェムの中
一時的に外部との意識を遮断させてもらったわ
大丈夫 私はあなたの敵じゃない

自身の魂の一部と捉えてもらって構わないわ
…そうは言っても完全な魔獣の制御は出来なかったから
結局は荒療治的な方法で元の体に戻ることになったのだけど…
魔力を奪われ魔獣の体に取り込まれた後
魔獣の一部に干渉しあなたの側へと誘導したの
じゃあ私の感情を奪ったのは…？
それは私の指示
変異魔獣に対抗する力を得るためよ
一時的に本体に残された魔力を全て貰って力を得たのち
杏子やマミと連携を取りつつ変異魔獣と相対し
最終的には変異魔獣との相殺でこの体を破壊し本体に魔力を返還できないかと考えたの
うまくいく保証なんてなかったけれど
他に良い方法も無かったわけだし
こうして元の体に戻ることができたのだから文句は無しよ

……私
思い出したわ
魔獣たちが
変異をきたした
その原因を…
それについては
少し
ややこしいの
時間を操る魔力と
私の魔力とは
起源が異なる
ものだから
あの盾は一体
何だったの？
魔獣に奪われた
魔力ということは
あなたの存在と
関係があるの？
少し整理を
しましょうか
暁美ほむらの
ソウルジェムの
こと
そして
この地上に
起きていること
……
既に気付いて
いると思うけど
暁美ほむらの
ソウルジェムには
二つの魔力
「時間を操る盾」と
「記憶を操る弓」…
二つの魔力が
備わっているの

暁美ほむら自身全く身に覚えのない「記憶操作」が何処から来たものなのか
まずはそこから説明しましょう
ここは私がまどかと最後に別れた場所
！これは…
覚えているわね
まどかによって世界の理が書き換えられ
本当ならばここでまどかに関する記憶の一切を喪うはずだった…
まどかの記憶を喪わなかったのは相応の理由が存在したの

…元の世界に戻っても
もしかしたら
わたしのこと忘れずに
いてくれるかも

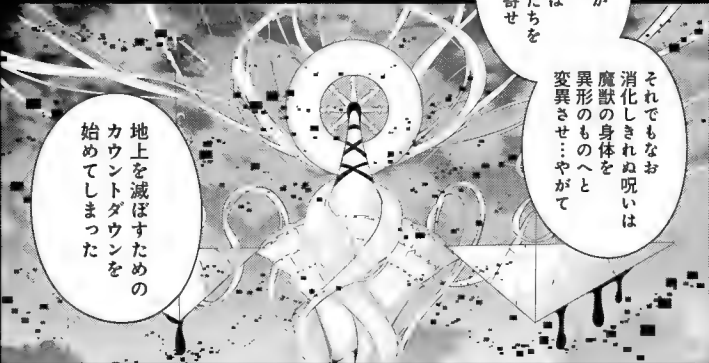
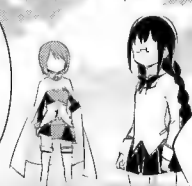
だって
魔法少女はさ
夢と希望を
叶えるんだから

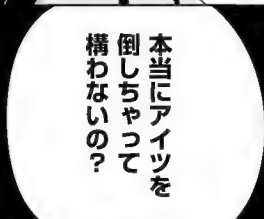
きっと
ほんの少しなら
本当の奇跡が
あるかも
しれない…

鹿目まどかと暁美ほむらが世の理を超え
互いを忘れまいとする強い想いが形となって
その奇跡は形見を通して暁美ほむらの身に引き継がれたの
そうして生まれたのが「記憶を操る力と魔獣を射抜く力」
…暁美ほむらの新たな力となった
じゃあ…やっぱりまどかはこの世界に…！
ここで疑問に感じるでしょうキュゥべえという存在を介さず
しかも二度目の奇跡を魔法少女が叶えられるのか…と
新たな奇跡によって新しく生まれた力は
魔法少女の魂を対価としていないルールから外れた不完全な魔力に違いなかった
…その時の願いと魔力があなただと…？
その通りね

鹿目まどかと
暁美ほむら…
互いも気づかぬ間に
叶えられた奇跡は
予測し得ない
思わぬ形で両者を
繋いでしまう事に
なったの
新しく
生まれた魔力は
暁美ほむらの
ソウルジェムの中を
仮住まいとして
いたのだけれど
ある時
その力は
本来の魔力に
干渉を始めて
しまったの
神となった
まどかが
収集した膨大な
呪いの集合体と
既に不必要になった
時間遡行の通路が
互いにリンクして
しまったの
………じゃあ
私が盾の中で
見たものは
おそらく
魔女に違いない
でしょう

…それなら
あの中に
まどかは……
そこまでは
私自身も
知り得ないこと
ただ
「そう」だという
確信があった
から
魔女を見た時
盾の存在を
記憶から消すより
他なかった
………
盾の中の奥深く
あの場所に魔女が
いるのなら
きっとまどかも
どこかにいるはず
その憶測は
自身にとっての
使命と決意を
歪ませるもの
でしかなかった
…何故？
いつの日か
孤独に耐えかね
まどかを求めて
再び盾を開放するに
決まっているもの

………許される事じゃないわ
そんな真似をしたら…
自身があの変異魔獣と同じ運命を辿っていたかもね
誤算だったわまどかの世界を守るために盾の存在を忘れたのに
まさかその盾を魔獣に奪われてしまうなんて
…あの日暁美ほむらの魔力を奪った魔獣は瞬く間にその形を歪めていった
私は魔獣の一部として過程をただ見ていたわ
盾の魔力が魔獣の手により分解され
封じ込めていたおびただしい呪いが噴出していくのを

魔獣自身も想定外だったでしょうね
人の希望と呪いを餌とする魔獣でさえもあんなに途方もない――…
神が収束した因果の呪いの消化など容易く出来るはずがない
一体の魔獣が飲み込んだ魔力と呪いは周囲の魔獣たちを次々と引き寄せ
それでもなお消化しきれぬ呪いは魔獣の身体を異形のものへと変異させ…やがて
地上を滅ぼすためのカウントダウンを始めてしまった
今の魔獣にはもう本来の魔獣としての意思はない
ただこの地上に災厄をもたらすためだけに存在する「本物の魔女」として顕現し…
この魔獣の世界もまたかつての世界と同じ結末を辿るでしょう
………………

……私
あの魔女を
倒さなきゃ

**本当にアイツを倒しちゃって構わないの？**

時間操作の盾を
永久に失う
かもしれないって
事なんだよ？
魔獣は既に
あなたの魔力と
融合しているのよ
言ったはず
でしょう
魔獣を倒しても
あなたに
魔力が戻る
保証はないって
盾の存在イコール
まどかが居るって
証明になるんだろ？
あんたはちょっぴり
記憶をいじった程度で
鹿目まどかの存在を
疑ってたじゃねーか

盾を失ったら
また同じことで
苦しむんじゃ
ないか？
絵空事の
記憶に過ぎないんだろうって…
ザッ
………
…それは

盾の中にまどかがいるかもしれないって気付いた時
あんたは盾を壊す事はせず記憶だけを書き換えた

今でもほんとはズルしてでもまどかに会いたいと思ってるんでしょ？

いいじゃないこんな世界捨ててさ
まどかのいる盾の中に逃げちゃえば？

あんたはこれまでだってずっとそうしてきたんだから

言ったでしょ？
私はルールから外れた特別な力だって
まどかへの想いから生まれた魔法だって
だから…ほむらちゃんさえ望むなら
ザッ
もう一度奇跡だって起こせるかもしれないんだよ
ト
まどかに会いに行くために……力を貸してあげられるかも
ねえ……ほむらちゃん
どうする…？
ドッ
ドッ
ドッ
ドッ
ド
……まどか

私……は……

……ううん

まどかには会えない

全ての魔獣を倒すまではまどかには会えない

………

どうして？

だって

私の願いはまどかを守る事だから

新たな力を手に入れようと盾を失う事になろうとも
それだけは絶対に変わったりしない

あの子が命をかけて守った世界だから
その世界を私の手で潰すなんてありえない

…あなたたちの言うとおり
一度は独りぼっちの苦しみから逃げようとした

誰よりも何よりも大切だった
まどかの存在を疑って
そのせいで
関係のない人達まで巻き込んだ

…でも
この世界を捨てて
まどかに会う事が
できたとしても
そんな形での
再会なんて
きっとあの子は
笑顔で
迎え入れて
くれないもの
…もう
遅いかも
しれないけど
最期まで
頑張ったね
って…
言ってほしい
から
…きっと
辛いよ
あの盾はわたしと
ほむらちゃんを
結ぶものだから
失くしちゃったら
また自分の記憶を
疑うかもしれないよ
…解ってる
でも
決めたの

あの盾がある限り私はまどかの待つ未来には進めない
そう思うから
そんなもの捨て去ってみせる
まどかの世界を脅かす力なんて
…それが私の

まどかへの
想いよ
だから
もう一度
力を貸して
まどかを
守る
盾じゃない
まどかを脅かす
すべてのものを
貫く力を
私に
……！

……!
受け取りなさい
私は「I」
暁美ほむら
あなたの心に欠けてしまった「まどかへの想いの結晶」
思い出して
あの子をいとしいと思う気持ち
忘れないと信じる気持ち…
それが

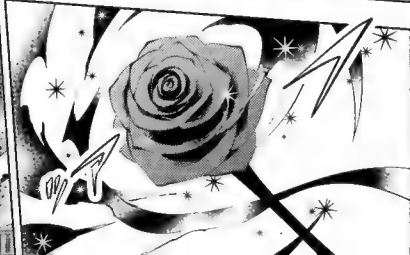
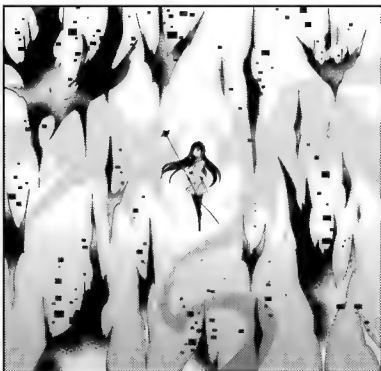
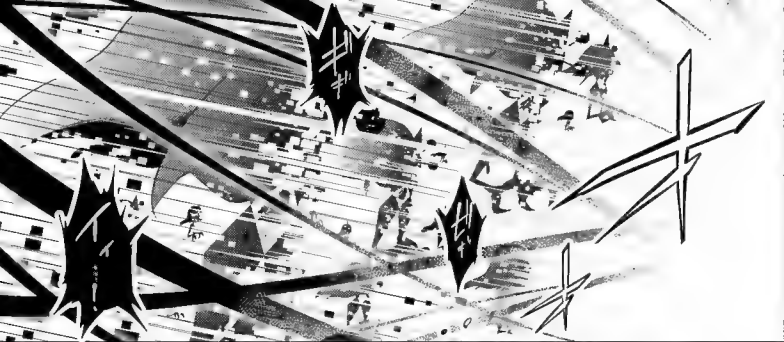
私の叶えた奇跡よ――

ゴォォォ

ピギュゥゥ
ギィィ
ビギィ
キィィ

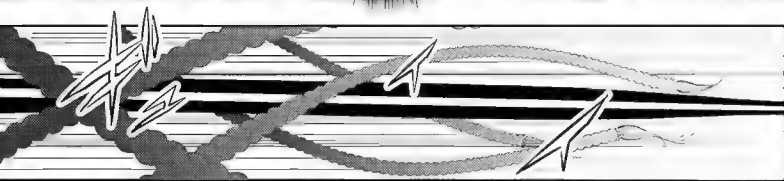
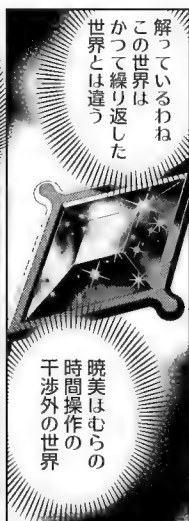
ギギ

ギギ

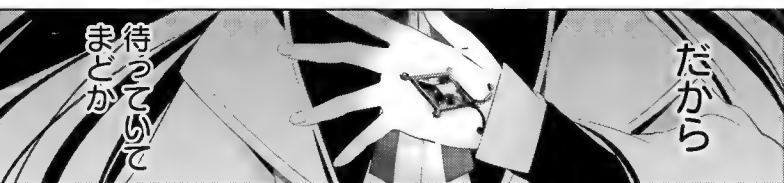
ィィ……!

……ああ

どうして
こんな気持ち……

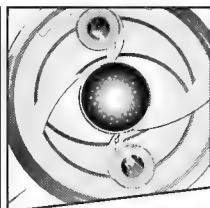
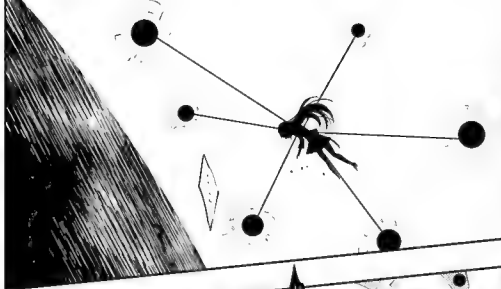
忘れて
いたんだろう……

この身に溢れる魔力が
…そうか
これが
私のまどかへの想い
ゴオッ

魔獣を穿(うが)つ力——！

パキ
ビシッ

…あった
私の盾……
…そう
魔獣と魔女を結ぶ核よ
解っているわね
この世界は
かつて繰り返した
世界とは違う
暁美はむらの
時間操作の
干渉外の世界
たとえ
時間操作が
機能しても
盾が負荷に
耐えきれず
最悪 時間を
巻き戻せない
かもしれない
…
覚悟は…
出来ている？

いつかきっと

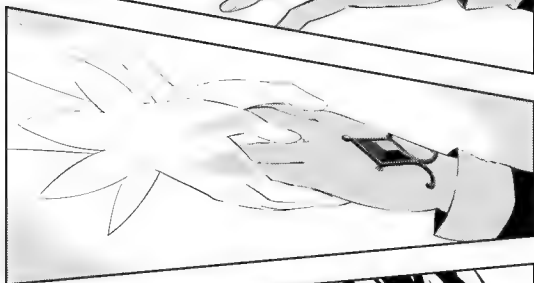
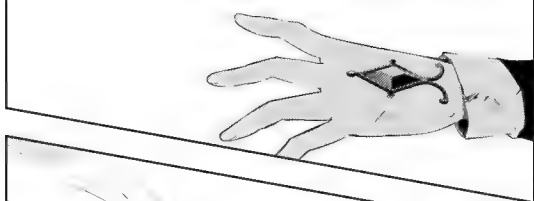
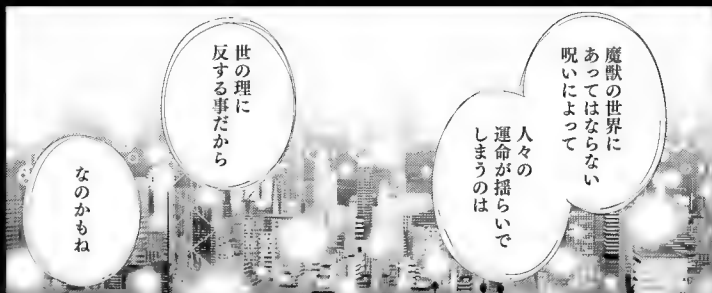
迎えに来て
くれるって

信じてるから

……そんな
こんな…所で…
私は…！

どうか…！
届いて…

がんばって

…まどか？

カチ
カチ…
カチ
カチ
カチ…
カチ
…まどか
助けてくれたのね
あの子の干渉で
時間が巻き戻っていく…

魔獣の世界にあってはならない呪いによって
人々の運命が揺らいでしまうのは
世の理に反する事だから
なのかもね
…どうやら
今回ばかりは私達の記憶も消えてしまうみたい
この先いつか
再び迷いを抱える時が来るかもしれない
でもきっと大丈夫

だって私がいるもの
私自身さえ強く熱く望むのなら…
カチ…
カチ
カチ…
カチ
いつか…どんな奇跡だって……
カチ…

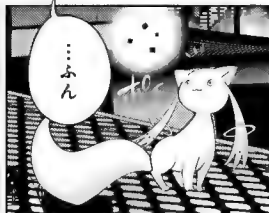
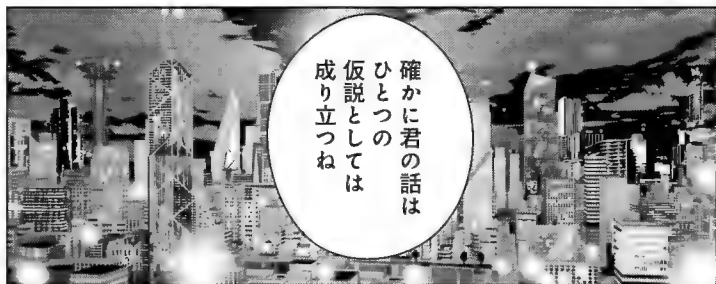
…まどか

……？

暁美さん？

確かに君の話は
ひとつの
仮説としては
成り立つね

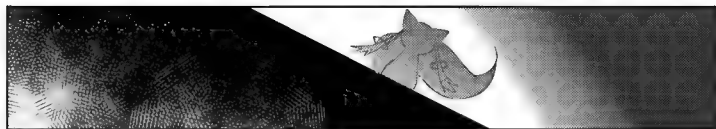
仮説じゃなくて
本当のことよ

だとしても
証明しようが
ないよ
君だけがその
記憶を持ち越して
いるのだとしても
それは君の
頭の中にしかない
夢物語と区別が
つかない
君が言うように
宇宙のルールが
書き換えられて
しまったのだと
すれば
今の僕らにそれを
確かめる手段なんて
ないわけだし…
…ふん

今夜はつくづく
瘴気が濃いね
魔獣どもも
次から次へと
湧いてくる
いくら
倒しても
きりがない
ぼやいてたって
仕方ないわ

行くわよ

…………

ふうん…

どうやら憶えているのは僕だけだったみたいだね

時間を操る者の武器や身体に触れている間は

同じ時間を共有出来る…だったかな？

まさか本当に時間遡行の魔術なんてものを扱えたとはね

君がいつの日か
その魂の輝きを呪いの色で満たす時
僕らに協力してもらう事になるだろう
全てはこの宇宙の未来のために

「円環の理」
…いや
君は確か
別の呼び名を
使っていたね
…そう…

「鹿目まどか」を
僕らのものに
するために

最終巻まで読んで頂き、誠にありがとうございました!!
アニメでは語られる事のなかった幕間の
"可能性"の一端を描かせて頂いた事、光栄に思います。
語られずとも続いていく魔法少女達の物語を
これからも見守って頂けたらと、そして私自身も見守りたいと
思っております。
ハノカゲ
☆スペシャルサンクス☆
Magica Quartet様
劇団イヌカレー様(魔獣設定デザイン)
すやすや酌屋様(見滝原作画)
きらら編集部様
読者のみなさま
ありがとう!!

＜初出一覧＞

・まんがタイムきらら☆マギカvol.26～vol.28

・描き下ろし

本書は以上の内容を収録いたしました。

魔法少女まどか☆マギカ［魔獣編］　第３巻

原案：Magica Quartet　漫画：ハノカゲ



電子版発行日：2017年1月15日

発行人：東　敬彰

発行所：株式会社芳文社

東京都文京区後楽 1-2-12